



ROTARY CLUB OF NAGOYA MEINAN

URL <http://www.meinan-rotary.com>

E-mail info@meinan-rotary.com

WEEKLY REPORT



2008-2009 RI会長
リー・ドンカン氏(韓国)

■承認/1991年3月8日

■例会日/火曜日・PM6:30

■例会場/名古屋マリオットアソシアホテル

■事務局/〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号

名古屋マリオットアソシアホテル2202号

TEL.052-586-2043 FAX.052-586-2054

■会長/川辺 清次

■幹事/鈴木 清詞

■会報委員長/田中 省三

第 830 回

2008年9月2日(火) 曇り 第9回

～新世代のための月間～

斉唱 君が代 奉仕の理想

出席 会員 70名 (出席率算入人数 65名)

出席 51名 出席率 78.46%

前々回補填率 95.31% (8月19日分)

ゲスト

西名古屋分区 ガバナー補佐 近藤 雄亮さん

RI第2760地区 総務委員 岡村 達人さん

西名古屋分区 幹事 高須 洋志さん

西名古屋分区 幹事代理 梅村 昌孝さん

◆会長あいさつ◆

会長 川辺 清次さん

今日は、近藤雄亮ガバナー補佐をはじめ、3名のかたにご来場いただいております。先ほど5時半から、別室にて会長、幹事、副会長、会長エレクト、副幹事と懇談会をさせていただきました。

近藤雄亮さんは、今までPETS、分区運営会議などでお会いしておりますので、初めてのかたではないという気安さから、いろいろ議論させていただきました。まず、名南RCの自慢できることを言ってくれという話だったのですけれども、自慢するところが多くて困りました。うちは女性会員が多いので、どこの家庭もカカア殿下のほうで平和だということで、女性の言うことをしっかり聞いてやっており、非常に平和で、和気あいあいのクラブ運営であると申し上げました。

分区幹事の高須さんは、私の高校時代の山岳部の先輩です。1年の夏には湊沢から穂高のほうに1週間ぐらいの合宿をやらされ、毎月2回は御在所で、藤内のロッククライミングをしごかれました。高須さんが瑞穂RCに入ったときに、4RCの例会か何かでお会いして、「昔、高須さんにしごかれました」と言ったら、「俺、覚えてねえなあ」という反応でした。そのうち高校時代の恨みをどこかで晴らそうと思って今日までできております。そんなことで、和気あいあいに懇談会を終了しました。

2週間後にはガバナー訪問があります。今回は、4RCの南、瑞穂、東南が合同でガバナー訪問の例会をされます。名南RCは単独で、クラブアッセンブリーはガバナー訪問のときにやるということです。そんなわけで、2週間後のガバナー訪問のときにはクラブアッセン



ブリーと会長・幹事懇談会もあります。

先ほどの会長・幹事懇談会の中で、CLPとか、いろんな今のRCを取り巻く問題点を議論しました。ガバナー訪問のときにも、各委員長さん、クラブアッセンブリーで報告するばかりではなく、普段疑問に思っていることを活発に発言されたいと思っています。親クラブの東南RCの片山さんがガバナーでありますし、おじさんクラブの瑞穂RCのかたがガバナー補佐であるという気安さもあるかと思います。ガバナーからも、ガバナー補佐さんからも、卓話をいただきますけれども、終わったあと、疑問があれば大いに議論していただいて、風通しのよい、あまりストレスのたまらないロータリー生活を送っていただきたいと思っています。

◆幹事報告◆

幹事 鈴木 清詞さん

1. 9月1日から、中村紀子さんに事務局に勤務していただいております。

●あいさつ

中村 紀子さん

中村と言います。精一杯やらさせていただきますので、どうぞよろしく願います。

◆ニコボックス◆

*過分にご協力いただきました。

西名古屋分区 ガバナー補佐 近藤 雄亮さん

RI第2760地区 総務委員 岡村 達人さん

西名古屋分区 幹事 高須 洋志さん

西名古屋分区 幹事代理 梅村 昌孝さん

*ガバナー補佐、訪問を歓迎します。

木村 猛さん 川村 繁生さん 大橋 さなえさん

東山 直史さん 杉山 隆秀さん 柴田 照子さん

白藤 憲雄さん 三浦 和人さん 吉木 邦男さん

鈴木 一博さん 榎原 和美さん 細井 俊男さん

新原 尚さん 森田敏二三さん 中村 勝さん

坂田 信子さん 江村 雅夫さん 堀田 光江さん

朝比美和子さん 山本 誠一さん 大隅 紀郎さん

浅井 浩さん 児島 徳和さん 鈴木 厚司さん

江上 隆夫さん 山崎 淳さん 田中 省三さん

林 隆二さん 長尾 浅吉さん 小山 慎介さん

久米 伸治さん 伊藤 博昭さん 犬飼りさ枝さん

伊藤 圭一さん 本多 利郎さん 入谷 直行さん

小野 雅之さん 川辺 清次さん 小澤 久隼さん

第832回例会(9月16日)のご案内

ガバナー公式訪問日 ガバナー 片山 主水氏

木下 福郎さん 鈴木 清詞さん 加藤 宜之さん
* 2回夏休みしました。ルクセンブルクから娘の家族
が遊びに来て、疲れるわ、金が減るわで本当に疲れました。
菊岡深智子さん

本日合計 66,000円 累計 409,000円

◆ガバナー補佐卓話◆

●西名古屋分区 ガバナー補佐 近藤 雄亮さん

今日はまず、RI会長とRIのテーマについて話させていただきたいと思います。RI会長は韓国のソウルで製造業を経営されているリー・ドンカンさんでございます。彼は職業歴、ロータリー歴、たくさんの経歴の持ち主でございます。いろいろ見せてもらった中で、私は二つのことに、非常に関心を持ちました。一つは彼が、韓国のポリオ撲滅民間部門推進計画の委員長をされていることです。もう一つは、彼が1996年に地区のガバナーをされたとき、32の新しいクラブを作り、約1,800人の新会員を入会させたことです。非常にバイタリティがあり、人脈の広いかただと思います。



RIの今年度のテーマは「Make Dreams Real 夢をかたちに」です。リー会長さんは、避けられるはずの原因で、5歳未満の子どもたちが毎日3万人以上亡くなっているという数字を見て驚愕し、そういった子どもたちに、なんとかロータリーの光を当てたい、ロータリーの奉仕をそちらへ向けたいと考えられたそうです。食料と水、保健と就学、充実した人生を送って寿命を全うする、こういう子どもたちにとって夢のような話を現実にしてあげよう、「夢をかたちに」というわけです。そういったことから、彼がポリオに関心をもっていることが理解できます。ポリオは子どもたちにとって大変な病気、かかればほぼ死んでしまう、たとえ運よく治ったとしても後遺症が残って、一生苦勞するという病気です。子どもたちに夢を与えようという中で、ポリオ撲滅は関連があることです。

RIがポリオに携わったのは1979年と言われております。RIの正式なプログラムとして認められたのは1985年、1億2,000万ドルの寄付を募り、それを元手にこのプロジェクトを推進していくこととなり、1986年7月1日からこのプロジェクトがスタートしました。1995年にRIの規定審議会で、西暦2000年までに地球上から野生株のポリオウィルス完全に撲滅するということが決議されました。それで数年様子を見て、完全に発症例がなくなったら、2005年の100周年に合わせてポリオ撲滅宣言をするという決議をしました。2005年にポリオの完全撲滅宣言はできませんでしたが、スタートした1985年には地球上で125か国以上存在したポリオウィルスが、今年の統計ではインド、パキスタン、アフガニスタン、ナイジェリアの4ヶ国にまで減少しています。昨年、ビル&メリнда・ゲイツ財団から、このポリオ撲滅に向けて、ロータリーに1億ドル寄付しますという話が出てきました。財団の寄付とRIで集めたお金でポリオをこの世の中から撲滅する、そういう動きが始まります。

リー会長はテーマのほかに強調事項を三つ挙げています。この強調事項は今年できたのではなく、前からの引継ぎ事項であり、大事なことなので今年度も強調事項に挙げるものです。一つは水保全、それから保健、飢餓救済、それから識字率向上、この三つでございます。水と生き物は切っても切れない大事な間柄です。最近、地球上の環境が大変大きく変化しており、川や湖の水がなくなるとい

なるという現象が起きています。水保全と保健、飢餓救済はリンクしており、水がなくなれば食料がなくなり、食料がなくなれば飢餓の人たちが増えていきます。今、水が潤沢に得られないということで、世界中の農業をやっている人たちが8億人いると言われてい

ます。裏返せば、食料が減っている。飢餓になる人が増えているということですね。だから、水について関心を持たなければいけないと思います。それから識字率の向上ですが、タイでは、ストリートチルドレンがおります。彼らは貧困のせいで、道路に車が止まったらずっと寄って行って、新聞を売ったり、花を売ったり、みやげ物を売ったりしております。運が悪いと、そういう子どもたちはひかれて死んでしまう。読み書きは、貧困層から抜け出すための道具とも言えます。

続きまして、片山ガバナーの方針等についてお話しします。片山ガバナーの方針は「持続可能な前進!! 組織運営で、奉仕活動で、会員増強で」です。サブフレーズは「ロータリーに心を ロータリーを心に ロータリーの心を」の三つです。これらを実行するために、四つの重点事項を挙げています。進化論を説きましたダーウィンの言葉に、「生き延びるのは、どんなに強いものでも、どんなに賢いものでもない。変化に素早く対応できるものである」というものがあります。ロータリーは個々のクラブの集合体がRIになっていて、個々には自治権があります。1996年に提唱されたDLP、2004年のCLPは、各クラブが、クラブの身の丈に合ったものを考えて、変えるところがあれば変えてほしい、こういうことだと思います。

この地球上で絶滅は何回かありますが、二つだけ挙げさせてもらいます。今から約6,500万年前、中生代から、新生代に変わったとき、中生代白亜紀の最後ですが、恐竜が絶滅しました。約1億5,000万年にわたって地球上で栄華を誇っていた恐竜が、地球の環境大変化についていけず、海の中も、陸の上も、みんな消えました。もう一つは、今から5億7,000万年前から5億1,000万年前、6,000万年の間に最強を誇っていたアノロマカリスという生き物の絶滅です。大人のアノロマカリスにはどんな生物もかなわなかったということですが、これが死に絶えたのです。理由として、アノロマカリスの生んだ卵をほかの生物に食べられてしまった、あるいは幼体が食べられたり、病気で死んでしまい、跡継ぎを残せなかったなど、色々な説があります。我々のロータリーを引き継いでくれる新世代、あるいはその次の子どもたちをしっかりと育てて、バトンタッチをうまくしなければ、RIはアノロマカリスと同じ道をたどると思います。名南RCさんは熱田ローターアクトを提唱しております。ローターアクトばかりではなく、インターアクトやライラにも関心を持っていただいて、そういう人たちを育ててほしいと思います。

最後になりましたけれども、一つことわざを申し上げて終わりにしたいと思います。「箸よく盤水を廻す」ということわざがあります。器に水をいっぱい入れてその真ん中に箸を立てまして、その箸をぐるぐる回す。そうすると最初、水は動きません。しかしそれを一生懸命回していると、だんだん水が回ってきます。最後には大きな渦になって、大きなエネルギーになって盤面いっぱいに回る、こういうことわざでございます。ぜひ今年度、川辺会長さんにその箸をぐるぐる回していただいて、皆さんがたが立てられた奉仕計画、これが自分たちの予想以上にできあがるように、エネルギーを出していただいて、頑張ってくださいと思います。